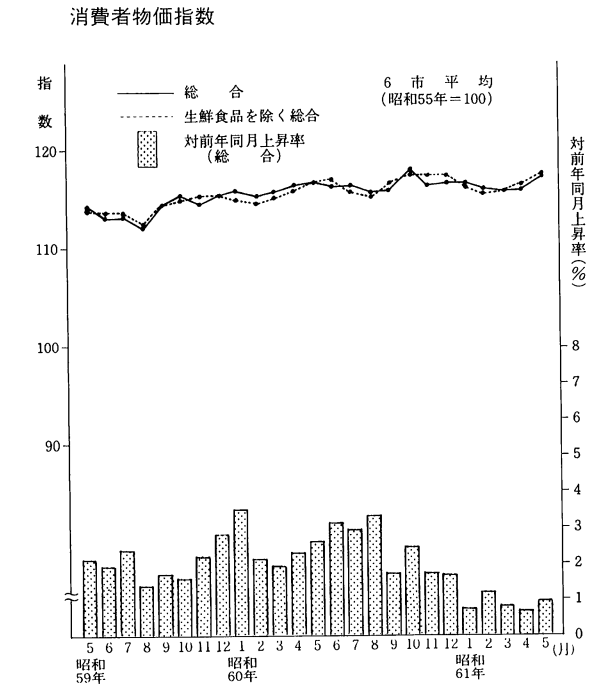
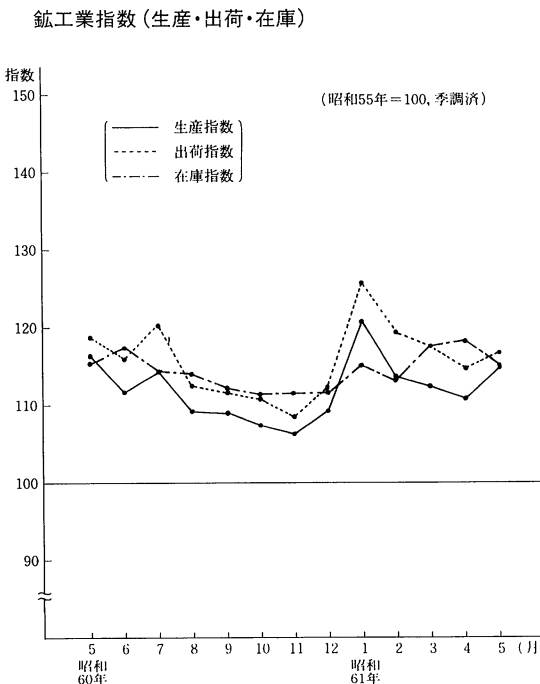
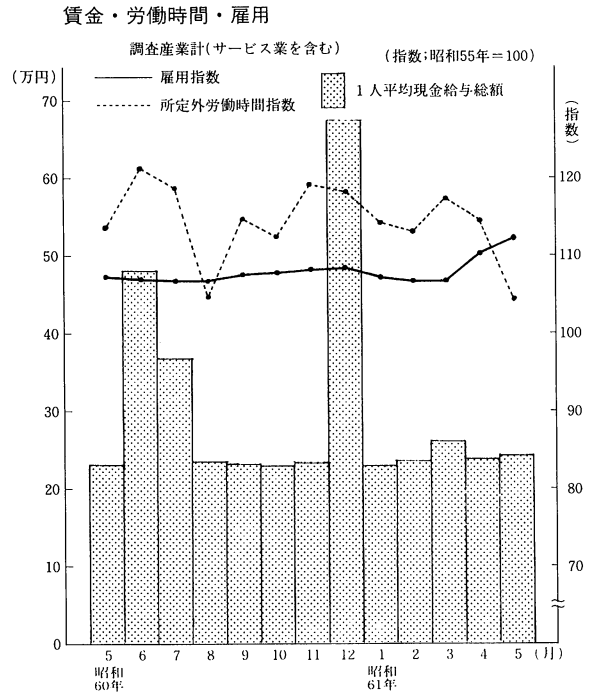
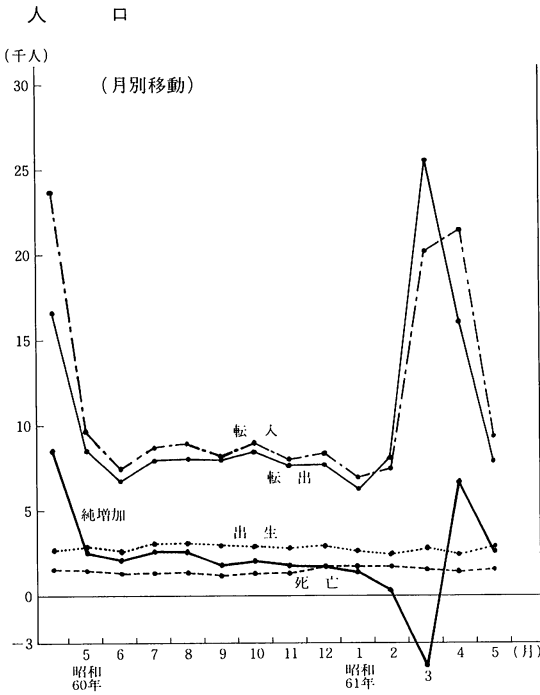


●今月の主な動き

今月の主な動き



主な動きのあらまし 企画部統計課

■ 人 口 (6月1日)

本県の人口は、5月中に2,442人増加し、6月1日現在で2,737,519人(男1,364,205人, 女1,373,314人)となった。

内訳は、自然動態で1,294人(出生2,745人, 死亡1,451人), 社会動態で1,148人(転入9,051人, 転出7,903人), それぞれ増加した。

市町村別では、増加が16市46町村, 減少が3市25町村, 増減なしが2町である。

世帯数についても、1,682世帯増加して、766,654世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (5月)

1. 平均賃金の推移

5月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は235,915円で前月に比べ0.3%減(前年同月比2.3%増)であった。

このうちきまって支給する給与は231,427円で前月に比べ0.2%減(前年同月比2.8%増)であり、特別に支払われた給与は4,488円で前年同月に比べ766円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は173.0時間で、前月に比べ4.6%減(前年同月比0.5%増)であった。

このうち所定内労働時間数は156.5時間で、前月に比べ4.2%減(前年同月比1.5%増)であり、所定外労働時間数は16.5時間で、前月に比べ8.9%減(前年同月比7.4%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると110.2で、増減率は前月に比べ0.2%増, 前年同月に比べ2.8%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (5月)

本県における昭和61年5月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.9, 出荷が116.4, 在庫が114.8で前月比は、生産が3.7%の上昇, 出荷が1.8%の上昇, 在庫が2.5%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が1.1%の低下, 出荷が1.6%の低下, 在庫が0.3%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、電気機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、食料品・たばこ工業、窯業・土石製品工業等が低下した。出荷では、電気機械工

業、鉄鋼業、鉱業等が上昇し、化学工業、食料品・たばこ工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、金属製品工業、木材・木製品工業等が上昇し、鉱業、石油・石炭製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財が低下した。出荷では、耐久消費財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、建設財が低下した。在庫では、耐久消費財のみが上昇し、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (5月)

昭和61年5月の茨城県消費者物価指数は、総合で117.7(昭和55年=100)となり、前月比0.9%、前年同月比0.9%の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料18.6%、たばこ11.5%、果物5.4%、シャツ・下着4.3%、調理食品3.1%

今月下がった主な項目……乳卵類△4.2%、野菜・海草△2.2%、魚介類△1.9%、他の光熱△1.6%

生鮮食品を除く総合は118.0となり、前月比1.0%、前年同月比1.2%の上昇となった。

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	117.7	0.9	0.9	保健医療	118.7	0.0	1.7
食 料	116.4	△0.3	0.3	交通通信	110.4	△0.5	△1.5
住 居	121.2	△0.6	3.9	教 育	146.0	0.0	4.1
光熱・水道	107.6	△0.2	△0.7	教養娯楽	119.3	0.5	2.0
家具・家事用品	110.3	△0.5	0.7	諸 雑 費	118.8	3.8	4.1
被服及び履物	124.2	9.5	0.4	生鮮食品を除く総合	118.0	1.0	1.2